

Think and Grow Rich 和文

- 1 聞こうとする人が秘密を聞くことができる。
- 2 何かを与えずに何かを得ることはない。
- 3 なりたいものになることができる。
- 4 お金、名声、評価、幸福は、それらを得ようとし、それらを得ようとする固い決意があるなら、誰でも得ることができる。
- 5 成し遂げた成果や財宝は、すべて考えることから始まっている。
- 6 神秘を得ようとするその半分を得ている。だから神秘が心に入ってくると他の半分は簡単にわかる。
- 7 目指すものと目指すものに達しようとする手段が宇宙の法則と人の理に合っている限り、不可能に見えることでも到達することができる。
- 8 希望を持つのは義務である。ぜいたくでない。
- 9 希望を持つのは夢を見ることでない。夢を実現することである。
- 10 夢を持ち、夢を実現するために努力する人は祝福される。
- 11 私は平凡な人間になることを選ばない。可能なら非凡な人間になることは私の権利である。
- 12 人から施しものをもらうために、自らが努力することを放棄することはしない。
- 13 人から施しものをもらうために、自分の自由をなくしたり、自分を卑しめることはしない。
- 14 私は権力者に屈しないし、威武にも屈しない。
- 15 自らに誇りを持ち、真っ直ぐに立つ。考えることを恐れない。自らが実行する。これが私の財産である。
- 16 人生に大きな目的を持つと奇跡が起こる。
- 17 創造的に考える時間は奇跡を生む。
- 18 自分は、考えること、感情、運命を自分だけが制御できる人間のコンピューターである。この素晴らしい能力を動かすためには時間が必要である。
- 19 自分という人間のコンピューターは繰り返すことでプログラムがつくられる。
- 20 宇宙の法則、神の法則、人間の理を犯さないものは何でも達成することができる。
- 21 成功のシグナルを出すものは、自分の心の力である。
- 22 真に何かをなそうとすると、それは現れてくる。
- 23 チャンスは裏口から入ってくる。これがチャンスが見せるいたずらである。
- 24 チャンスは裏口から入ってくるいたずらをする癖がある。チャンスはしばしば不幸のように見えたり、敗北のように見えたりする。これがために多くの人がチャンスに気付かないのだろう。
- 25 地中から得られた金よりも多くの金がかかることから得られた。
- 26 彼は諦める前に専門家に相談することを知っていた。
- 27 その経験はよくないことのように見えたが祝福であった。
- 28 考えることが正しいと成功する。
- 29 成功するのに必要なものは正しく考えることだけである。
- 30 成功は成功のわかっている者にやって来る。
- 31 意図したのではないが、失敗の仕方を身につけた者に失敗はやって来る。
- 32 志せば得ることができる。
- 33 どんなに時間がかかろうと、成功するまでその仕事をし、その仕事に留まれ。
- 34 私が私の運命の支配者であり、私が私の心の長である。
- 35 心を広くしろ。

- 36 正しい方向に長く動けば動くほど成功に近づく。
- 37 成功が手に届く所にあるのに、あきらめてしまう人があまりに多い。それで他の人が成功を手にする。
- 38 心で考え確信したことは成すことができる。
- 39 望むことを具体的な行動に移した時に夢は実現する。
- 40 勝つか死ぬかである。他の選択はない。
- 41 どんなことでも勝ちたければ、退却の手段はすべて断たなければならない。そうすることで勝とうとする強い志を持つことができる。強い志は成功の必須条件である。
- 42 お金ができることがわかる年齢になると、誰でもお金をほしがる。富をほしがるだけでは、富を得ることはできない。富をほしがるのが強い志となり、富を得る具体的な方法を考え、失敗しても志が揺るがないなら、富を得ることができる。
- 43 もしあなたのしたいことが正しく、あなたも正しいと確信しているなら、それをしなさい。
- 44 あなたの夢を実行しなさい。一時的に失敗しても、人の言うことを決して気にすることのないようにしなさい。失敗は失敗しただけの成功をもたらす種を持って来ることは人は知らないのだから。
- 45 夢を実行する人はあきらめない。
- 46 関心がない、怠慢である、志がないからは夢は生まれなし。
- 47 人生で成功する人は、みな悪い状態で始まり、多くの困難な戦いをして成功に達するということを覚えておきなさい。成功者の分岐点は、危機で自分に帰る時にやって来る。
- 48 敗北を認めない限り、敗北していない。
- 49 それを得ることができると確信しない限り、それを得る準備は整っていない。単に希望したり願うだけでは、得ることができない。ものを得るには確信しなければならない。
- 50 確信するためには、広い心を持つことが必要である。心を閉じてしまうと、信頼も確信も勇気も生まれない。
- 51 志は不可能に見えることを成し遂げる。
- 52 すべてのことは私たちに信すべきことを教える。ただそれに従えばよい。自分たちの中に導くものがある。恭しくそれを聞くだけで、正しい言葉を聞くことができる。
- 53 強い志はいろんな形で具体的なものとなる。
- 54 強い志と確信があるなら、よいことであれ悪いことであれ、実現しないものはないのが実の所である。
- 55 私は確信で裏打ちされた志の力を信じる。これが人を低い地位から権力と富に押し上げたのを見ているからである。
- 56 志がその大きな力の焦点を勝つことに合わせると、退却を考える必要はない。必ず勝つからである。
- 57 志があると、一時的に敗北した所から勝つ。
- 58 心は私たちはあると思う限界があるだけである。
- 59 信じると考えることをすべて打ち砕いてしまう。
- 60 自分を信じる強い力は自分を限り無い高さまで引き上げることができる。
- 61 断言したり繰り返し言うことが、自分の意識しないものに影響を及ぼして生まれる心の状態が信じるということである。
- 62 自ずと信じることは、具体的なことを繰り返し言い、自分が意識しない所まで影響を及ぼすことだけで得ることができる。
- 63 概念が感情となり信念が混ざるとすべてすぐに具体的なものとなる。

- 64 概念の感情的な部分が概念に力と命と行動をもたらす。
- 65 信じるという感情、愛と性は考える力と混ざると感情単独よりも大きな行動を起こす。
- 66 信じること、確信することが、意識しない」心の動きを決める。
- 67 心が肯定的な感情で支配されると、心は信念のよい住み家となる。心が肯定的な感情で支配されると、意識しない心に意のままに指示を出し、意識しない心はそれを受け入れ、すぐにそれによって動く。
- 68 信念は自らに告げることで心の状態である。
- 69 自分自身を信じろ。それは無限を信じることだ。
- 70 自分がしよと思うことに忠実に従うこと、これが富を集積するすべての始まりである。
- 71 自分がしよと思うことに忠実に従うことが、科学の法則で説明できないすべての奇跡、すべての神秘の基盤である。
- 72 信念が、失敗しない効果がある唯一の知られていることである。
- 73 信じることが、有限の心で造られた一般的な概念の波動を霊的なものに変える。
- 74 信じることによってのみ、人は無限の知恵という世界に広がる力を制御し使用する。
- 75 よいことであれ、悪いことであれ、人は繰り返し自分に言うことを結局は信じることになるというのがよく知られた事実である。
- 76 その人の心を支配している考えがその人の人となりである。
- 77 自分の心でよく考え、共感し、感情のこもっているものが、自分の行動を導き、自分の行為を制御する力となる。
- 78 考察されたことが感情と混ざると、他の同様の考察を引き寄せる魔法の力を持つ。
- 79 感情を帯び引き寄せる力を持った考察は、種のようなものである。種は肥沃な地に播かれると、成長し、どんどんと増え、最初は一つの種であったものが、何百万という数えきれない同じ種類の種となる。
- 80 人の心はその心を支配している波長と合う波長をたえず引き寄せる。
- 81 人が抱く考え、計画、目的は、それに類似するものを引き寄せ、力を増し、その人を支配し動かすものとなる。
- 82 意図、計画、決意は繰り返し考えることで心に根付くだろう。
- 83 自分の心の財産と負債を考えてみると、一番の弱点は自分を信じないことであることがわかるだろう。
- 84 私は人生の確固とした目的を達成する能力があることを知っている。それでそれを達成するように継続して行動することをここに約束する。
- 85 自分の心を支配する考えが結局は外の物質的な働きとなり、だんだんと物質的な存在となることを私は認識している。
- 86 自分に言うことにより、自分の心にずっと持っている志は、その背景となっているものを得るという得るという実際的な方法により、ついに表出しようとする。
- 87 正理の上に立ったものでないと、富も地位も長続きしないことを私は十分に認識している。
- 88 私は、私が人のためにすることで、人を私のためにさせようとする。
- 89 私はすべての人を愛することで、憎悪、嫉妬、利己、皮肉を取り除く。こういう否定的な態度で人に接すると、決して私に成功をもたらすことがないからである。
- 90 私は自分を信じ人々も信じている。それで人々は私を信じる。
- 91 否定的なことを繰り返し自分に言う人は、敗北し貧困、不幸、苦痛の中で人生を終える。
- 92 考えることはすべて、それに相当する目に見える衣を身につける傾向がある。
- 93 自分の考えることが自分を不幸にすることができる。

- 94 意識下の心は建設的な考えと非建設的な考えを区別しない。
- 95 意識下の心は、私たちが与える食糧とともに動き、私たちが考えることを通して動く。
- 96 恐怖で動かされた考えは、勇気や信念で動かされた考えと同様に、意識下の心がたやすく現実のものとする。
- 97 もし打ち負かされたと思うなら、実際打ち負かされている。
- 98 あえてしないと思うなら、実際にしていない。
- 99 勝ちたいが勝つことはできないと思うなら、勝たないだろうことはほぼ確実である。
- 100 負けると思うなら、負ける。世の中では成功は人の意思で始まるからである。すべては心で何を思うかによる。
- 101 もし人にずっと劣っていると思うなら、実際人にずっと劣っている。
- 102 向上するためには、高いことを考えなければならない。
- 103 成功する前に自分を信じなければならない。
- 104 人生の戦いでは強い者や早い者は必ずしも勝たない。しかし勝つことができると思っている者が遅かれ早かれ勝つ。
- 105 あなたの中には業績の種が眠っている。もし目を覚まし、行動を起こすと、今まで望んだことがないほど高い所まであなたを引き上げる。
- 106 人から得る前に人に与えよ。
- 107 富は人の中から生まれる。富の額は考えたことを実行するその人にのみよる。
- 108 確信は成功に欠くことができない。確信は自分が意識下に指示したもので生まれ強められる。
- 109 貧困も裕福も確信が生むものである。
- 110 自らに示唆するとは、五感を通じて心に達するすべての示唆、すべての刺激のことを言う言葉である。
- 111 素晴らしい結果を出すためには、心の一番深い所が働くようにしろ。心の一番深い所を感情で裏打ちしろ。二つが交わると素晴らしいものとなる。
- 112 意識下の心は感情が混じっている考えを認識し、感情が混じっている考えでのみ動く。
- 113 感情のこもっていない言葉は意識下に影響を与えない。
- 114 信念のある考えや言葉が意識下に達することを知らないなら、評価のできることはできない。
- 115 意識下の心は絶対的の信念でなされた命令を聞き、それにより動く。ただしその命令が意識下の心にわかってもらうためには、何度も提示し繰り返さなければならないことが多い。
- 116 新しい考えを疑うのはすべての人間の特徴である。
- 117 人は自分自身の主人になるだろうし、自分を困うものの主人にもなるだろう。人は自分の意識下の心に影響を及ぼす力があるからである。
- 118 あなたは第六感を持っているが、自分の意識下の心に達する考えを制御するには、通常の五感だけが必要である。自分の意識下の心に達する考えを制御すると、意識下の心は繁栄に向かい貧困の余地はなくなる。
- 119 すべての災難は大きな恩恵の種を持っている。
- 120 知識は、体系化し、理に従い、現実的な行動計画により、富の集積という確定した目的向かうことにより、初めて金を引き寄せる。
- 121 知識は力である。
- 122 教育はあなたが作るものである。あなたが行きたい所に連れて行ってくれる知識を見つけることができる。
- 123 知識は単なる潜在的な力である。知識により明確な行動計画を作成し、知識を明確な目的に用いて初めて力を出す。

- 124 教育のある人というのは、必ずしも、一般知識や専門知識が多い人でない。自分が得たいものやそれに相当する物を他人を害することなく得ることができる能力の発達した者を教育のある人と言う。
- 125 必要な時にその知識をどこで得ることができ、その知識を具体的な行動計画とすることができる人を教育のある人と言う。
- 126 ヘンリー・フォードは、大家の助けを借りて、アメリカの超富裕者の一人となるのに必要なすべての専門知識を意のままにした。ヘンリー・フォード自身がこういう知識を持っていたかどうかは重要なことでない。
- 127 大きな富の集積には力が必要である。その力は高度に賢明に組み立てられた専門知識により得られる。しかしその知識は必ずしも富を集積する者が持っている必要はない。
- 128 富を集積するのに役に立つ知識を持っている大家を集め、指示を出すことができる人は、その大家と同じく教育のある人である。
- 129 知識が必要とされる時、明確な目的を持ち、具体的な方法で知識を使用しなければならない。
- 130 価値ある目的に用いて得られる知識でないと、価値を持たない。
- 131 どんな職業であれ、成功した人は、その主な目的、仕事、専門に関する知識を得ることを決してやめない。
- 132 成功しない人は、知識を得る期間は学校を卒業すると終ると思う誤りをよくする。
- 133 努力せずに、また費用をかけずに得たものは、一般的に評価できないものである。しばしば誤っている。
- 134 人間は値段のついているものだけを価値のあるものとする。これは人間の奇妙な点の一つである。
- 135 私たちは運命を受け入れる。今している日々の生活をする癖があるからである。その癖は非常に強いから、やめることがない。
- 136 世界のすべての人は勝者を愛する。敗者のことを考える時間はない。
- 137 理にあった考えに値段はつけられない。
- 138 考えることが主であるということを覚えておきなさい。
- 139 専門知識はどこにでも見つけることができる。
- 140 知識はまだ実現していない力である。知識により明確な目的への明確な手段をつくることができる。
- 141 経験から得るもの、接触する人から得るものに心を開くようにしなさい。
- 142 どの道を取るのかわかれば、富への道は知識で覆われている。
- 143 心の動き、志は構想力により形を与えられ、動き始める。
- 144 人は考えることは何でもつくることができる。
- 145 人生に必要なすべてのひらめきは構想力の中にある。
- 146 構想力は心の仕事場である。心のエネルギーを業績と富に変えることができる。
- 147 人間の理性は、構想力がどれだけ発達し、構想力をどれだけ用いるかが限界となるだけである。
- 148 創造的な構想力により、有限の心は無限の知恵と直接接することができる。
- 149 想像力は用いることで発達しさらに鋭敏になる。
- 150 体系的構成功能も創造的構成功能も使用することでさらに鋭敏になる。筋肉や臓器が使用することで発達するようなものである。
- 151 構想力は使わないと弱くなっただろう。
- 152 自然が成功の秘密を教えてくれる。

- 153 この地球や何十億というあなたの体の細胞の一つや物質のすべての原子は触れることのできないエネルギーとして始まった。
- 154 志は考える力である。考える力はエネルギーである。
- 155 不変の法則の助けにより富を築くことができる。
- 156 アイデアが富となる。
- 157 考えることがすべての富の始まりである。
- 158 思うことで概念ができる。
- 159 考えたことは明確な目的と明確な計画により金となる。
- 160 大きな富をもたらすのは、決して勤勉だけではない。富がやって来るとすなら、定まった理に基き詳細に要求するからである。富は偶然にやって来たり、幸運でやって来たりはしない。
- 161 考える力が構成力に訴えて出て来るのがアイデアである。
- 162 廉価な本の出版社は自分たちに非常に価値があることがかった。多くの人は本の内容で本を購入するのでなく、本のタイトルで本を購入することを知ったのだ。売れていない本のタイトルを変えただけで、その本の販売が100万部異常に跳ね上がった。
- 163 まずアイデアに命を与え、アイデアが動き、アイデアが導くようにする。するとアイデアは力を持ち、すべての反対をはらいのける、
- 164 体系的構成力と創造的構成力を用いる。これをよくすると、その二つは不可分となり働く。
- 165 構想力は多くの失敗で欠けているものであり、多くの成功の触媒となるものである。
- 166 多くの富は一つのアイデアだけでつくられる。独創的な方法をもっていなかったのだけど、それに新しいものを一つ加えるだけで何千ドル、何百万ドルも勝ち取ったことを見てください。
- 167 一番素晴らしい道具でも、その使い方を知っている人を必要としている。
- 168 賢い人は報酬を与えずに他人が働くことを求めたり、報酬を与えずに他人が働くと考えたりはしない。ただし報酬は必ずしもお金だけではない。
- 169 十分な経験、教育、生来の能力、知識があるから他の人の協力は不要という人は一人もいない。
- 170 敗北したがためにさらに強くなる。
- 171 最も賢明な人であっても、具体的、現実的な方法を用いないと、富の集積に成功することはできない。
- 172 一時的に敗北したというのは、計画の何かが間違っていたのだとわかるだけのことである。
- 173 何百万人もの人々は人生を不幸と貧困の中で暮らす。富を集積する理にかなった手段を持たないからである。
- 174 計画が理にかなっていないと、業績は大きなものにならない。
- 175 大きな富を蓄えた人を見る時、しばしばその勝利だけを見る。乗り越えなければならなかった一時的な敗北を見ない。
- 176 諦めるのが早い人は決して勝たない。勝つ人は決して諦めない。
- 177 お金自体は活発でない。お金は動くことも考えることも話すこともできない。しかし人がお金を望み、お金にこちらに来るように呼びかけると、お金はそれを聞くことができる。
- 178 大きく言って世の中の人々は2種類に分かれる。導く者と従う者である。
- 179 信念と勇気のない指導者に指導されたい者はいない。
- 180 自制できない者は人を動かすことはできない。
- 181 公正と正義がなければ指導者は下の者から尊敬されない。
- 182 決定が揺らぐ者は自分の心も決まらず、他の人も指導できないことを示している。

- 183 成功する指導者はすることの計画を立てなければならないし、立てた計画を実行しなければならない。
- 184 現実的な一定の計画がなく、推測で動く指導者は、舵のない船のようなものである。遅から早かれ座礁する。
- 185 指導者の負担となるものの一つは喜んですることである。指導者は部下よりも多くのことをしなければならない。
- 186 指導者は部下と苦楽をともにしなければならない。さらに部下を理解し、部下の困っていることを知らなければならない。
- 187 部下のミスや欠点にも躊躇なく責任を取る指導者が、成功する指導者である。
- 188 部下の一人がミスをしたり、無能であることがわかって、攻めるべきは自分なのだと指導者は考えなければならない。
- 189 部下が納得する指導をする指導者が唯一の長続きする指導者である。
- 190 指導者にとって大事なこと
- 1 くじけない勇気
 - 2 自制
 - 3 正義
 - 4 確固とした信念
 - 5 確固とした計画
 - 6 報酬以上のことをする
 - 7 人間性
 - 8 人に共感し人を理解する
 - 9 指導することを熟知している
 - 10 すべての責任を取る
 - 11 人と協力する
- 191 自分自身が働いて稼ぐよりも、人を働かせて稼ぐもののほうがたいていは多くなる。
- 192 たいていの人は単に金のために働くよりも、出世と評価のために働くほうが賢明に働く。
- 193 部下は残虐な指導者を尊敬しない。
- 194 どんな形であり残虐になると長続きしないし、その人の活力も奪ってしまう。
- 195 信義がなく、同僚、上司、部下に実を尽さない人は長く指導者の地位にいることはできない。
- 196 実を尽くさないと塵以下のものとなり、ふさわしい軽蔑を受ける。
- 197 人生のすべてのことについて実がないことが失敗の主な原因の一つである。
- 198 成功する商人は商品のよい所を伝えるために宣伝の技術と心理学に通じた人を雇う。
- 199 その会社に利益をもたらす明確な行動計画を持つ人はどの会社も受け入れる。
- 200 脳の実資本としての価値は、脳の生み出すことのできる収益により決まる。
- 201 お金は脳ほどの値打ちはない。
- 202 お金はビジネスに不可欠なものだが、鋭敏な脳がないと、お金は砂丘に過ぎない。
- 203 失敗する主たる原因 31
- 1 遺伝負因
 - 2 人生の明確な目的の欠如
 - 3 非凡になろうとする志の欠如
 - 4 不十分な教育
 - 5 自製の欠如
 - 6 不健康

- 7 子供の時の悪い環境
- 8 先送り
- 9 不変の努力の欠如
- 10 否定的な考え方
- 11 性的衝動の抑制欠如
- 12 何もせずに得ようとする気持の抑制欠如
- 13 明確な決定の欠如
- 14 恐怖（貧困、非難、不健康、愛されない、加齢、死亡に対する恐怖）
- 15 ふさわしくない配偶者の選択
- 16 過度な懸念
- 17 仕事のパートナーの選択ミス
- 18 迷信と偏見
- 19 仕事の選択ミス
- 20 努力集積の欠如
- 21 見境無く出費する癖
- 22 熱中することの欠如
- 23 不寛容
- 24 抑制欠如
- 25 人と和す能力の欠如
- 26 自らが努力して得たものでない権力
- 27 不誠実
- 28 利己主義と自惚れ
- 29 考えることの無い推測
- 30 資本の欠如
- 31 その他
- 290 貧困でいるのは非常に容易である。貧困になるのに、何もする必要はない。
- 356 恐れを知らない人は遠い未来まで栄える。
- 357 他の人は誰も君のことを考えてはくれない。
- 358 富は心の持ち方から始まる。
- 362 考えるのに時間を取れ。
- 370 志が弱いと成果は乏しくなる。
- 371 自分の頭だけでなく、他の多くの人の頭も使うことができる。

更新日： 2022 年 3 月 28 日